



平成28年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成28年7月28日 東

上場会社名 GMO TECH株式会社 上場取引所  
 コード番号 6026 URL <https://gmotech.jp/>  
 代表者（役職名） 代表取締役社長CEO（氏名） 鈴木 明人  
 問合せ先責任者（役職名） 取締役CFO 管理部部長（氏名） 染谷 康弘 (TEL) 03(5489)6370  
 四半期報告書提出予定日 平成28年8月8日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年12月期第2四半期の業績（平成28年1月1日～平成28年6月30日）

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年12月期第2四半期	1,495	△19.6	△38	—	△41	—	△47	—
27年12月期第2四半期	1,860	—	238	—	237	—	145	—
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
	円 銭		円 銭					
28年12月期第2四半期	△43.95		—					
27年12月期第2四半期	131.85		130.62					

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年12月期第2四半期	1,204	787	65.4
27年12月期	1,641	1,013	61.7

(参考) 自己資本 28年12月期第2四半期 787百万円 27年12月期 1,013百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年12月期	0.00	0.00	0.00	70.02	70.02
28年12月期	0.00	0.00			
28年12月期(予想)			0.00	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 平成28年12月期の業績予想（平成28年1月1日～平成28年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,600	△24.4	△60	—	△60	—	△64	—	△59.17

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数 (四半期累計)

28年12月期 2 Q	1,100,000株	27年12月期	1,100,000株
28年12月期 2 Q	39,400株	27年12月期	—株
28年12月期 2 Q	1,081,610株	27年12月期 2 Q	1,100,000株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。当社は、平成28年7月28日に機関投資家及びアナリスト向けの決算説明会を開催する予定です。当日使用する決算説明会資料は、当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期財務諸表	5
(1) 四半期貸借対照表	5
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国の経済は、企業収益や雇用環境などで改善傾向が見られる反面、輸出の伸び悩みや個人消費の低迷を背景として内外需ともに力強さを欠く状況が継続しております。一方、海外においては英国EU離脱や米国大統領選などを受けて先行きの不透明感が増し、今後の動向が注目されております。

当社の事業領域であるインターネット分野におきましては、平成28年3月末における一般世帯のスマートフォン保有率が6割を超え(※1)、普及の段階から本格的な活用の段階へと移行しつつあります。また Facebook や Twitter・LINE・Instagram などソーシャルメディアにおけるビジネス利用の拡大、AR(拡張現実)・位置情報サービスの多様化など、インターネットビジネス環境は変化し続けております。さらに O2O(※2)やオムニチャネル(※3)といった動きに加え、ウェアラブルデバイス(※4)などのデバイスの進化やIoT(※5)などの潮流により、今後もインターネットにおける集客の重要性は益々高まるものと考えております。

※1 内閣府経済社会総合研究所「消費動向調査(平成28年3月実施調査結果)」

※2 O2Oとは、Online to Offline(オンライン・トゥー・オフライン)の略で、オンライン(インターネット)とオフライン(実店舗)の購買活動が連携し合う、またはオンラインの活動を実店舗などでの購買を促進する効果に結び付ける施策を指します。

※3 オムニチャネルとは実店舗やオンラインストアをはじめとするあらゆる販売チャネルを統合する施策を指します。

※4 ウェアラブルデバイスとは、腕や頭部など、身体に装着して利用することが想定された端末(デバイス)を指します。

※5 IoTとは、Internet of Things(インターネット・オブ・シングス)の略で、コンピュータなどの情報・通信機器だけでなく、世の中に存在する様々なモノに通信機能を持たせ、インターネットに接続したり相互に通信する技術や仕組みを指します。

このような環境の下、当社は創業事業であるPC・モバイル集客支援事業をベースとし、他の2事業へ積極的に経営資源を集中することにより収益機会を拡大してまいりました。しかしながら直近ではスマートフォンアフィリエイトASP事業の環境変化による売上低下を受け、再成長へ向けた事業構造の見直しを図る局面となっております。

以上により、当第2四半期累計期間における売上高は1,495,962千円(前年同期比19.6%減)、営業損失38,186千円(前年同期は238,391千円の営業利益)、経常損失41,080千円(前年同期は237,807千円の経常利益)、四半期純損失は47,534千円(前年同期145,038千円の四半期純利益)となりました。

セグメント別の営業概況は次のとおりです。

#### ①スマートフォンアフィリエイトASP事業

当事業は、スマートフォンアプリのプラットフォームであるAppleが提供するAppStore及び、Googleが提供するGoogle Playにおける「アプリインストール型広告(GMO SmaAD)」を展開しております。CPI(コスト・パー・インストール)あるいはCPA(コスト・パー・アクイジション)といった成果報酬型の商品体系とすることにより、お客様にとって費用対効果が明確となり、良質なユーザー獲得が可能となります。

当事業は2011年の導入以来堅調に推移してきたものの、近年のスマートフォンユーザーの行動変化や顧客ニーズの多様化を受け、売上低下傾向が継続しております。このような事業環境において、当社は単価の見直しや商品構成の抜本的な見直しを行い、収益基盤の再強化を図っております。

以上の結果、当第2四半期累計期間において、当事業の売上高は、624,449千円(前年同期比53.4%減)、セグメント損失は113,757千円(前年同期176,691千円のセグメント利益)となりました。

#### ②PC・モバイル集客支援事業

当事業は、SEO対策及びリスティング広告・SNS広告の運用代行を軸としたPC・モバイル集客事業を展開しております。当社は、創業事業であり豊富なノウハウを有するSEOコンサルティングに加え、ソーシャル広告及び集客メディアなど成長分野への注力により、売上・利益ともに堅調に推移しました。

以上の結果、当第2四半期累計期間において、当事業の売上高は、802,607千円(前年同期比61.2%増)、セグメント利益は131,923千円(前年同期比1.6%減)となりました。

### ③スマートフォンアプリCMS ASP事業

当事業は、スマートフォンアプリ導入ツールを簡単かつ安価で提供する「GMO集客アップカプセル」を展開しております。オンラインからオフラインへ顧客を送客できる機能(020:オンライン・トゥー・オフライン)を備えております。具体的には、特定のアプリユーザーに対してのみ情報配信を行うプッシュ通知機能や店舗を中心とした一定エリアに入ったユーザーのみを指定して自動的にクーポンや情報の配信を行う機能を実装することで、数多くのリアル店舗が課題として抱える店舗集客に関し、新しい集客の形態を提案しております。

今期は販路の拡大に積極的に取り組むとともに、複数店舗を展開されている大規模チェーン店様向けの機能強化を行い、顧客基盤は順調に拡大いたしました。

以上の結果、当第2四半期累計期間において、当事業の売上高は、68,905千円(前年同期比201.0%増)、セグメント損失は56,352千円(前年同期は72,378千円のセグメント損失)となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

### (資産)

当第2四半期累計期間末における資産合計は、前事業年度末に比べ437,430千円減少し、1,204,123千円となりました。主な変動要因は、売掛金が234,848千円減少(前事業年度末比43.4%減)したこと及び関係会社預け金が300,000千円減少(前事業年度末比60.0%減)したことによるものであります。

### (負債)

当第2四半期累計期間末における負債合計は、前事業年度末に比べ211,821千円減少し、416,249千円となりました。主な変動要因は、買掛金が125,217千円減少(前事業年度末比38.7%減)したこと及び未払法人税等が83,120千円減少(前事業年度末比97.4%減)したことによるものであります。

### (純資産)

当第2四半期累計期間末における純資産合計は、前事業年度末に比べ225,609千円減少し、787,873千円となりました。主な変動要因は、配当金として77,022千円の支払いを行ったことと自己株式を99,995千円取得したことによるものであります。

## (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期累計期間においては、事業環境変化を背景としたスマートフォンアフィリエイトASP事業における売上・利益の急激な低下を、他の2事業で補うことが困難な状況となっております。その結果、平成28年12月期通期では売上高、利益ともに当初の業績予想数値を下回る見込みとなりました。詳細については、平成28年7月28日発表の「業績予想の修正および配当予想に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

(平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を当第2四半期会計期間に適用し、平成28年4月1日以降に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、この変更により当第2四半期累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

## 3. 四半期財務諸表

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成27年12月31日)	当第2四半期会計期間 (平成28年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	509,987	490,624
売掛金	540,658	305,810
関係会社預け金	500,000	200,000
その他	28,181	58,434
貸倒引当金	△7,064	△2,931
流動資産合計	1,571,762	1,051,937
固定資産		
有形固定資産	3,963	11,553
無形固定資産	10,321	7,053
投資その他の資産		
投資有価証券	29,957	93,377
その他	25,549	40,200
投資その他の資産合計	55,506	133,578
固定資産合計	69,791	152,185
資産合計	1,641,554	1,204,123
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	323,797	198,580
未払金	112,266	158,630
未払法人税等	85,380	2,260
その他	105,853	56,000
流動負債合計	627,298	415,471
固定負債		
資産除去債務	771	778
固定負債合計	771	778
負債合計	628,070	416,249
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	276,800	276,800
資本剰余金	266,800	266,800
利益剰余金	470,537	345,980
自己株式	—	△99,995
株主資本合計	1,014,137	789,585
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△653	△1,711
評価・換算差額等合計	△653	△1,711
純資産合計	1,013,483	787,873
負債純資産合計	1,641,554	1,204,123

## (2) 四半期損益計算書

第2四半期累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年6月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年6月30日)
売上高	1,860,574	1,495,962
売上原価	1,291,529	1,197,875
売上総利益	569,045	298,086
販売費及び一般管理費		
給料手当	74,687	89,896
貸倒引当金繰入額	△2,893	△1,318
賞与引当金繰入額	2,208	—
その他	256,651	247,695
販売費及び一般管理費合計	330,653	336,273
営業利益又は営業損失(△)	238,391	△38,186
営業外収益		
受取利息	42	291
その他	71	—
営業外収益合計	113	291
営業外費用		
為替差損	697	2,201
支払手数料	—	983
営業外費用合計	697	3,184
経常利益又は経常損失(△)	237,807	△41,080
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	237,807	△41,080
法人税、住民税及び事業税	87,798	276
法人税等調整額	4,969	6,178
法人税等合計	92,768	6,454
四半期純利益又は四半期純損失(△)	145,038	△47,534



## (3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年6月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	237,807	△41,080
減価償却費	3,433	4,432
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△2,893	△4,133
賞与引当金の増減額(△は減少)	6,400	—
受取利息	△42	△291
売上債権の増減額(△は増加)	67,054	234,848
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△2,908	△38,451
仕入債務の増減額(△は減少)	△86,570	△125,217
未払金の増減額(△は減少)	11,963	46,363
未払法人税等(外形標準課税)の増減額(△は減少)	△1,539	△525
その他の流動負債の増減額(△は減少)	4,772	△50,032
小計	237,477	25,911
利息及び配当金の受取額	42	291
法人税等の支払額	△72,452	△82,871
営業活動によるキャッシュ・フロー	165,067	△56,667
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△961	△8,754
無形固定資産の取得による支出	△6,888	—
関係会社預け金の払戻による収入	—	300,000
投資有価証券の取得による支出	△30,934	△65,000
その他	△645	△12,108
投資活動によるキャッシュ・フロー	△39,429	214,136
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
配当金の支払額	△57,002	△76,835
自己株式の取得による支出	—	△99,995
その他	△5,714	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△62,717	△176,831
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	—
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	62,920	△19,362
現金及び現金同等物の期首残高	830,474	509,987
現金及び現金同等物の四半期末残高	893,394	490,624

## (4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成28年2月15日開催の取締役会決議に基づき、当第2四半期累計期間において自己株式39,400株を取得しております。この結果、当第2四半期累計期間において自己株式が99,995千円増加し、当第2四半期会計期間末における自己株式が99,995千円となっております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

前第2四半期累計期間(自 平成27年1月1日 至 平成27年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				計
	スマートフォン アフィリエイト ASP事業	PC・モバイル 集客支援事業	スマートフォン アプリCMS ASP事業		
売上高					
外部顧客への売上高	1,339,918	497,764	22,892		1,860,574
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—		—
計	1,339,918	497,764	22,892		1,860,574
セグメント利益 又は損失(△)	176,691	134,077	△72,378		238,391
その他の項目					
減価償却費	1,016	1,591	824		3,433

- (注) 1. セグメント利益又は損失の合計は、四半期損益計算書の営業利益と一致しております。  
 2. セグメント利益又は損失には適当な配分基準によって、各報告セグメントに配分された全社費用を含んでおります。  
 3. セグメント資産及び負債については、取締役会に対して定期的に提供されておらず、経営資源の配分決定及び業績評価の検討対象となっていないため記載しておりません。  
 4. 報告セグメントに対して特定の資産は配分しておりませんが、減価償却費は配分しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第2四半期累計期間(自 平成28年1月1日 至 平成28年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				計
	スマートフォン アフィリエイト ASP事業	PC・モバイル 集客支援事業	スマートフォン アプリCMS ASP事業		
売上高					
外部顧客への売上高	624,449	802,607	68,905		1,495,962
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—		—
計	624,449	802,607	68,905		1,495,962
セグメント利益 又は損失(△)	△113,757	131,923	△56,352		△38,186
その他の項目					
減価償却費	3,010	867	554		4,432

- (注) 1. セグメント利益又は損失の合計は、四半期損益計算書の営業損失と一致しております。
2. セグメント利益又は損失には適当な配分基準によって、各報告セグメントに配分された全社費用を含んでおります。
3. セグメント資産及び負債については、取締役会に対して定期的に提供されておらず、経営資源の配分決定及び業績評価の検討対象となっていないため記載しておりません。
4. 報告セグメントに対して特定の資産は配分しておりませんが、減価償却費は配分しております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。